名鉄グループエリア 魅力発見マガジン

Wind

MEITETSU

Take Free | 5 2025

KOMAGANE

伊那紬

想いが息づく、
地域の彩り探訪。
Precious Stories

職人の手仕事と自然が生んだ、芸術的な織物。

長野県・伊那谷で生まれた伝統的工芸品「伊那紬」。
豊かな自然がもたらす草木染めの美しさと、
職人の手仕事による唯一無二の風合いが魅力だ。
しかし、時代の流れとともに織元は減少し、伝統を受け継ぐのは1社のみ。
技術を次世代に残そうと奮闘する、伝統工芸士の想いに迫る。

伊那紬（いなつむぎ）

伊那谷の風土が育んだ伝統的工芸品「伊那紬」。

長野県南部に位置する、中央アルプスと南アルプスに囲まれた地域を「伊那谷」と呼ぶ。四季折々の美しい風景が広がるこの地には、清らかな天竜川が南北に流れ、大正から昭和にかけて、養蚕（ようさん）業や製糸業が盛んに行われてきた。あまり雪が降らない気候と程よい湿度は絹織物の生産に適し、豊かな植物資源が草木染めの技術向上を支える。この地域一帯で作られた織物は「伊那紬」と呼ばれ、自然由来の素朴な色合いと、手織りならではの温かみのある風合いから、日常着としても広く親しまれてきた。やがて、近郊の「松本紬」や「上田紬」とともに「信州紬」として、国の伝統的工芸品に指定されるまでに発展。最盛期だった昭和初期には、伊那谷周辺で20軒以上もの工房が稼働するほどの地場産業に育っていった。

ところが、時代とともに安価な海外製品の台頭が進むと、担い手も徐々に減少。今では久保田織染工業だけになってしまったが、糸作りからはた織りまで一貫して行えるという自社の強みを生かし奮闘。職人たちは、この地に息づく「伊那紬」の伝統を今もなお守り続けている。

会社は久保田さんの曾祖父が創業。その歴史は100年以上にもなる老舗企業だ。

古くから使われている機械が今でも稼働。メンテナンスができる職人は限られた人だけに。

人と自然が織りなす、唯一無二の風合いが魅力。

「伊那紬」は、蚕（かいこ）の繭（まゆ）から取れる生糸・玉糸・真綿糸という性質の異なる3種類の糸を組み合わせて織られている。もとは、江戸時代に養蚕農家の女性たちが、家族のために織った反物がルーツだそう。当時、良質な繭は京都や名古屋に出荷されたが、蚕が繭を破って穴が開いてしまったものは不良品として扱われていた。そこで女性たちは、それらの繭を無駄にすることなく糸を紡ぎ出し、足踏み式の手織りばたで生地を作ったそうだ。

糸を染める原料は、りんごや山桜、一位（いちい）、しらかばなど古くから地域に育つ草木。乾燥させて煮出し、深みのある素朴な色彩を生み出すため、ていねいに染め上げる。「同じ材料で染めても、その日の温度や湿度などで微妙に色や輝きが変わります。草木で染めた糸は、どの色同士でもなじむんですよ」と、専務の久保田貴之さんはにこやかに話す。こうして作られた糸が、職人の手によって、反物に織り上げられていく。職人の技術と想い、そして、自然の恵みが一体となった唯一無二の個性こそが、「伊那紬」の魅力となっている。

天然の素材を使って染められた糸は、どれもやさしい風合い。ふたつとして同じ色はない。

ふんわりとした手触りと自然由来の色合い、パターン化された模様が特徴。職人の手間ひまがそこかしこに息づいている。

大学進学を機に地元を離れ、東京でサービス業に従事。後に三代目社長・久保田治秀さんの誘いを受け、家業に入る。伝統工芸の奥深さに触れるなかで、ものづくりの面白さと責任の重さを実感。39歳で伝統工芸士の認定を受け、「伊那紬」の技術を受け継ぐとともに、企業とのコラボレーションや商品開発にも尽力。伝統を守りながら、新たな可能性を追求し続けている。

久保田織染工業株式会社
専務 兼 伝統工芸士
久保田貴之
Kubota Takayuki

「かせ」と呼ばれる大きな輪の状態で製糸工場から納められた生糸を、ボビンに巻き取っていく糸繰りの作業。次の整経を行うために欠かせない工程だ。

一本の糸から紬へ。伝統の技が生きる、昔ながらの現場。

製造工程は大きく分けて、糸作り、草木染め、色柄の設計、整経、手織りの5つ。まず、糸作りでは、厚さ42デニールの細い糸を4本撚り合わせ、168デニールのしなやかで丈夫な糸にしていく。繊維に余計な負担をかけないよう、細心の注意を払いながら作業を進める。次に、「伊那紬」の特徴である草木染めが施される。染めは主に久保田さんの担当だ。その後、色の組み合わせや柄の配置を決め、経糸と緯糸に分け、織機にセットする整経が済むと、いよいよ手織り。ひとつの柄を織り上げるのに、熟練の職人でおよそ1週間かかるそう。模様の設計図を見ながら間違えないように織っていくが、織り手ごとの力加減・織るリズムがわずかに異なるため、同じ柄を作っていても表情が変わるのだという。「一反の織物が完成するまでに、さまざまな職人の手がかかっています。どの工程にも妥協なく臨み、技術を高めていく。その積み重ねこそが『伊那紬』の価値を支えています」と、久保田さんは出来上がった生地に触れながら、顔をほころばせた。

乾燥させた樹皮。りんごの木でも、品種や木の状態によって異なる色合いの染料になるという。

染めた糸が絡まらないように、もう一度ボビンに巻き取っていく管巻きの作業。糸が切れないよう目を光らせる。

時代とともに変化する「伊那紬」。伝統を未来へつなぐ挑戦とは。

久保田織染工業では、伝統を守るだけでなく、時代に合わせたあらたな挑戦にも取り組んでいる。そのひとつが、インバウンドを対象にした商品の開発だ。近年、日本の伝統工芸に関心を寄せる外国人が増えていることを受け、従来の反物や着物だけでなく、テーブルランナーやストールといったアイテムにも注力しているという。また、「日用品から気軽に伝統工芸に触れてほしい」と、ネクタイやペンケース、財布なども製作。色や柄、風合いはすべて異なり、どれにしようか迷ってしまうほどだ。

「伊那紬」の伝統を守り、受け継ぐことについて久保田さんは、「まずは注文を絶やさないことが大切」と話す。安定した生産体制を維持しながら、新しい試みに挑戦し続けることで、「伊那紬」の未来を切り拓いていく考えだ。同社では、糸作りからはた織りまでの工程をすべて手がけているため、問題が生じた際も職人同士が即座に集まり、解決策を見出せる環境が整う。その柔軟な対応力こそが、伝統を支える強み・新商品開発の礎となっている。

「伝統を守ることは、ただ古い技術を継承するだけではなく、時代に合わせて変化しながら本質を伝えていくことだと思います。新しい考え方やアイデアを取り入れながら、これからも織り続けていきたいですね」。そう語る久保田さんの意気込みから、「伊那紬」を未来へとつないでいく強い使命感が見えた。

反物以外にもさまざまな小物を展開。「ネクタイ(11,000円〜)」「ミニショルダーバッグ(15,400円〜)」「印鑑ケース(1,980円〜)」などが揃う。手土産にはもちろん、大切な人へのプレゼントにもおすすめ。

外国人旅行者から「テーブルランナー(33,000円)」が人気なことに驚いたという久保田さん。「海外の方に向けた商品開発も増やしたいですね」と話す。

駒ヶ根市で「伊那紬」を製造する唯一の工房。受け継がれた機械と職人の手仕事で、糸作りから手織りまで一貫して行い、伝統を守りながらあらたな挑戦を続けている。

久保田織染工業株式会社
駒ヶ根市東町2-29
☎0265-83-2202
8:00〜17:00　土・日曜、祝日休
「駒ヶ根バスターミナル」下車 徒歩約11分

PRESENT▶P10

平日のみ要予約で、織物体験(2,000円)、見学(500円)も可能。体験では、説明を受けて20分〜1時間ほどで花瓶敷きが完成する。また、大人ひとり分になる長さの着尺や帯が織れる本格的な織物教室(入会金10,000円、着尺88,000円〜、帯44,000円〜)も実施中。

現地を満喫！

駒ヶ根市

AREA GUIDE

周囲にそびえる山々を眺めながら市内を散策。

01 雲上に広がる絶景に感動。

中央アルプスの千畳敷カールへと続く、日本最高所にある山岳ロープウェイ。標高1662mの「しらび平駅」から2612mの「千畳敷駅」まで、日本一の高低差950mを約7分30秒で登ります。四季折々の絶景が広がり、富士山や北岳、間ノ岳など日本屈指の名峰は必見。また、千畳敷カールでは5月でも雪山が楽しめ(P7)、夏になると約150種類もの高山植物を鑑賞できます。ホテル千畳敷内の「2612 Café & Restaurant」では、人気の季節限定メニューもお見逃しなく。

濃厚な自家製デミグラスソースと、雪に見立てたチーズがまろやかに絡み合う「チーズ香る雪山オムライス(1,900円)」。

標高にちなみ26cmもの信州産スモークウィンナーを挟んだ「2612ドッグ(1,050円)」。アルプスの雪解け水で淹れた「2612オリジナルブレンドコーヒー(550円)」。

1周約45分の遊歩道で、国内有数の氷河地形も観察。

中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ　駒ヶ根市赤穂759-489　☎0265-83-3107
8:00～17:00(季節によって変動あり)　通年営業　料金:大人往復2,290円～
「しらび平駅」までは、「駒ヶ根バスターミナル」から徒歩約2分のバス停「すずらん通り」で乗り換え約45分。

02 駒ヶ根ならではの名物料理を老舗で満喫。

キャベツの上にカツをのせた、駒ヶ根名物「ソースカツ丼」は豚ロースを使用。鶏ガラベースの秘伝の醤油ソースが味の決め手です。また、伊那谷の俳人・井上井月(いのうえせいげつ)にちなんだ「井月そば」は、猪肉の旨味が溶け込んだ温かいつゆに、打ちたての十割そばを浸していただく逸品。ほかにも、天竜川のざざ虫など、駒ヶ根の風土が息づく昆虫の佃煮も味わえます。

「井月そば(1,980円)」。うな重とセットになった「井月セット(2,640円)」や、写真右下にある上伊那の珍味で、蚕のさなぎを佃煮にした「絹の花(550円)」も、ぜひご賞味を。

ボリュームたっぷりの地元グルメ「ソースカツ丼(1,320円)」。

水車　駒ヶ根市中央4-19　☎0265-83-3635
11:00～14:00、17:00～21:30
※土・日曜、祝日は11:00～21:30
5/7(水)、13(火)、21(水)、27(火)休

03 季節の味覚を楽しむ憩いのスポット。

「駒ヶ根バスターミナル」にある、いちご農家が運営するカフェです。冬から春はいちご、夏は桃やぶどう、秋はりんご…と、季節ごとに地元で採れる旬のフルーツが楽しめます。今月は、紅ほっぺを使った「いちごサンド」「いちごパフェ」や「いちご大福」もメニューに。また、店内で作る焼き菓子やドライフルーツを使った商品は、手土産としてもおすすめ。旅の発着拠点として、周辺の観光パンフレットも入手できます。

大ぶりないちごを使った「いちごパフェ(1,200円)」「いちごサンド(800円)」。

テイクアウトにも嬉しい「いちご大福(各400円)」。

ドライフルーツ入りの「フルーツ和紅茶(各200円)」、ホットミルクに溶かす「ホットチョコスティック(各300円)」。

CampStrawberry(キャンプストロベリー)
駒ヶ根市上穂栄町3-1　☎0265-96-7429
8:00～19:00、カフェ10:00～18:00
隔週水曜(5月は7、21)休

PRESENT▶P10

04 南信州の恵みを味わう心温まる洋菓子店。

地元出身のパティシエが名古屋で修行を積み、「生まれ育ったまちに貢献したい」との想いでオープン。農家から直接仕入れる新鮮なフルーツや、風味豊かで後味のすっきりした「すずらん牛乳」など、地元産の素材を積極的に使用し、素材そのものの美味しさを大切にしています。毎朝焼き上げるカヌレやマドレーヌは、それを目当てに訪れる人もいるほど人気の商品です。イートインスペースでは、北欧やフランス発祥の焼き菓子をはじめ、ケーキなどの生菓子、スムージーやコーヒーなどのドリンクも楽しめます。南信州の恵みを詰め込んだ心温まるお店です。

地元の茶葉を使ったスムージー「ほうじ茶(871円)」、濃厚な「みるくチョコ38%(767円)」。

左から「季節のショートケーキ(702円)」、「紅茶(445円)」、「カヌレ(410円)」。

菓子店 midi
駒ヶ根市上穂栄町3-3 1階　☎0265-98-6859
10:30～18:30
不定休

PRESENT▶P10

Instagram

チュニジアの家庭料理「ブリック(700円)」、山ぶどうの鮮やかな色が特徴の「ヤマソーホップ(470円～)」。

南信州ビール「ゴールデンエール(420円～)」と「国産牛100%のビーフバーガー&フライドポテト(1,480円)」は人気の組み合わせ。

05 多彩なクラフトビールが揃う大人の隠れ家カフェ。

南信州のクラフトビールOgnaを中心に、店主が厳選した多彩なビールなどが堪能できます。グラスはS・M・Lがあり、お好みのサイズで飲み比べを楽しむことも。こだわりの自家焙煎コーヒーや、パテがジューシーなハンバーガーも人気で、カフェとしても利用できます。旅の合間にお腹を満たすのはもちろん、宿泊時にはちょっと飲み直したい2軒目使いなどとして、さまざまなシーンに寄り添う大人の空間です。

bien bien(ビエン ビエン)
駒ヶ根市中央17-26　☎0265-98-5380
11:30～翌2:00　月・火曜休

アクセス

予約制

駒ヶ根の観光には、ゆったりとくつろげる名鉄高速バスが便利です。「名古屋⇔駒ヶ根・伊那」は、座席間隔が広めの4列シートでトイレも完備。名鉄バスセンターを7:30に出発する始発便と、駒ヶ根バスターミナルを18:25に出発する最終便を含め、毎日7往復の運行をしています。

■名鉄バスセンターから高速バス
「名古屋⇔駒ヶ根・伊那」
「駒ヶ根バスターミナル」下車
◉所要時間:約2時間40分
◉片道運賃:3,600円

「名古屋⇔駒ヶ根・伊那」詳細情報

今月の散策コース

駒ヶ根バスターミナル
↓徒歩約5分
駒ヶ根総合文化センター
↓徒歩約2分
すずらん公園
↓徒歩約5分
大宮五十鈴神社
↓徒歩約11分
安楽寺
↓徒歩約13分
久保田織染工業
↓徒歩約11分
駒ヶ根バスターミナル

中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ

Ⓒコンビニエンスストア　Ⓖガソリンスタンド

駒ヶ根市　こまがねし

人口:31,019人(2025年3月現在)
長野県南部、伊那谷の中央に位置し、東に南アルプス、西には中央アルプスがあり、3,000メートル級の雄大な山々を望むことができます。水や空気が澄んだ豊かな自然に恵まれ、農家はもちろん酒造メーカーも多く、日本酒や地ビール、ワインなどを製造。電機・精密機械工業も盛んです。

おでかけNEWS

千畳敷カールの魅力を伝える「春の2612体験」開催中！

■期間／5月11日(日)まで
※天候や積雪状況により期間を変更する場合があります。

詳しくはこちら！

駒ヶ岳ロープウェイ(P5)で登った先にある、日本で一番標高の高い駅「千畳敷駅」。標高2,612mに位置し、目の前には標高2,931mの宝剣岳がそびえ、広がる半円形の窪地「千畳敷カール」では、四季折々の景色の中で自然との一体感を味わうことができます。この季節は、5月でも銀世界が広がっており、11日まで「スノーシュー体験」も開催。初心者はもちろん、お子さまでも気軽に楽しめるアクティビティで、「らくらく手ぶらプラン」なら平日60分3,000円～。スノーシューやストックなどのレンタルに、履き方レクチャーを加えたおトクなプランです。さらに、オリジナルロゴの入った手袋のプレゼントもあります。雪が残る千畳敷カールでの雪上体験や写真撮影、冠雪の南アルプスをはじめとした雄大な大自然の眺望を満喫しましょう。

名鉄×アニメ『ウマ娘 シンデレラグレイ』タイアップ企画「東海プロジェクト」を実施！

詳しくはこちら！

■期間／6月30日(月)まで

岐阜県笠松競馬場からデビューした名馬「オグリキャップ号」をモチーフにした、ウマ娘オグリキャップが主人公のアニメ『ウマ娘 シンデレラグレイ』。その放送開始に合わせたタイアップ企画、「東海プロジェクト」を開催中です。登場するキャラクターをあしらったラッピング電車(2200系)では、対象車両の車内でオグリキャップ役の高柳知葉さんによる、録りおろし車内アナウンスの放送を実施。また、名鉄沿線を周遊し、7カ所の駅に設置されたスタンプを集める「名鉄×アニメ『ウマ娘 シンデレラグレイ』スタンプラリー」も開催しています。スタンプラリー台紙引換券がセットになった「アニメ『ウマ娘 シンデレラグレイ』1DAYフリーきっぷ(4,000円)」を購入し、対象の駅を巡ってスタンプを全て集めると、コンプリート特典のクリアファイルをプレゼント！ さらに、スタンプ設置駅でしか販売していない、各駅オリジナルのアクリルスタンドやオリジナル入場券(ポストカード)などのグッズも、お見逃しなく。

©久住太陽・杉浦理史&Pita・伊藤隼之介／集英社・ウマ娘 シンデレラグレイ製作委員会
© Cygames, Inc.

「CentX」でAR技術を活用したデジタルスタンプラリー開催

■期間／6月30日(月)まで

詳しくはこちら！

名鉄公式アプリ「CentX」のサービス強化・拡充に向け、名鉄百貨店本店メンズ館前の「ナナちゃん人形」をARで再現するデジタルスタンプラリーを開催しています。まずは、名鉄名古屋駅・金山駅・神宮前駅周辺にある8カ所のスポットを巡り、スマートフォンでAR体験Webページへアクセス。各スポットにあるポスターを見て合言葉を入力すると、過去に話題になった衣装のARナナちゃんが登場し、デジタルスタンプを獲得！ スタンプ獲得数に応じて、Coke ON®ドリンクチケットや、対象のスポット施設で使える500円OFFクーポンなどの特典を「CentX」アプリ上で受け取ることができます。

おかげさまで ぎふ金華山ロープウェー70周年

■期間／2026年3月31日(火)まで

「ぎふ金華山ロープウェー」では、開業70周年特別企画を開催中です。山麓駅やゴンドラが記念ラッピングで皆さまをお迎えするほか、6代にわたるゴンドラと、黄金色に染まる金華山、岐阜公園に咲き誇るソメイヨシノなど、四季折々の風景を水彩イラストで描いた特別デザインの乗車券を、山麓出札限定で販売しています。また、岐阜市出身の声優・立花慎之介さんによるゴンドラ内の音声ガイドは、ナイター営業時間のみの放送ですが、笑いあり・学びありの内容で必聴！ さらに、山頂レストランや売店でも、記念メニューやオリジナル商品を数多くご用意しています。お隣にオープンした「岐阜城楽市」とともにお楽しみください。

詳しくはこちら！

5月の 名鉄のハイキング スタート受付時間／8:30～11:00 ※指定時刻までにスタート受付駅にお越しください。

5/10(土)・11(日)

セントレア開港20周年 空港島ぐるっと一周コース

■受付／中部国際空港 第1ターミナル1階

中部国際空港

5/24(土)・25(日)

発酵散歩と 新しい岐阜公園を訪れるコース

■受付／名鉄岐阜駅

岐阜公園官民連携にぎわい創出事業(Park-PFI)

「名鉄CentX」のアプリ、またはスタート受付で配付する紙のコース地図を手にお楽しみください。

詳しくはこちら！

CentX

アプリのダウンロードはこちら

meitetsu 名鉄百貨店

名鉄百貨店 5月の催事情報

本店［本館］7階催場

5日(月・祝)まで	コウペンちゃん展
	アニメ『ウマ娘 シンデレラグレイ』POP UP STORE IN 名鉄百貨店
7日(水)～12日(月)	婦人服・服飾雑貨 夏の理由(わけ)ありお買得市
	全国逸品 掘り出しきもの市
14日(水)～19日(月)	めいてつ ぐるめピクニック ～パンtoごはん、スイーツの旅～
21日(水)～26日(月)	圓照寺門跡 山村御流いけばな展
28日(水)～6月3日(火)	第52回 山形県の観光と物産展

※都合により、変更・中止となる場合がございます。

Wind Information

今月のプレゼント

1 P4掲載

久保田繊染工業株式会社より
「雷鳥ぶろーち」を5名様に
※デザインは異なる場合があります。

2 P5掲載

CampStrawberryより
「キャンプストロベリースペシャル
ギフトセット」を5名様に

3 P5掲載

菓子店 midiより
「焼菓子の詰め合わせセット」を
4名様に

応募方法

名鉄ホームページ、または右記QRコードよりご応募ください。
プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。
▶締　切：5月20日（火）

プレゼントへのご応募はこちら

アプリで発信中！

Windの誌面で紹介したお店や施設などの情報を
名鉄公式アプリ「CentX」でも配信します。
ぜひダウンロードして、ご活用ください！

CentX

アプリのダウンロードはこちら

今月の名鉄グループ提供番組

※番組内容・時間が変更となる場合がございます。

Finder TRIP	あさドレ♪	サンデーファンデー	ドデスカ!	岐阜の名景
［東海テレビ］ 金曜22:52より放送	［中京テレビ］ 毎週月～金 あさ5:50より放送	［CBCテレビ］ 日曜12:54より放送	［メ～テレ］ 毎週月～金 あさ6:00 土 あさ6:30より放送	［ぎふチャン］ 水曜21:56より放送
2日・9日・16日・23日 半田編	地元の採れたて情報を お届け	4日・11日・17日・25日	今春24年目に突入 とびだせ！ もっと地元に会いに行く。	7日・14日・21日・28日 岐阜市・羽島市 ※21日・28日は再放送

6月号のPrecious Storiesは　「カブトビール／知多半田駅」です。6月1日の発刊をお楽しみに！

〈プライバシーポリシーについて〉お客さまの個人情報は、プレゼントの発送及び、個人を特定できない統計データ作成にのみ利用いたします。
また、ご応募いただいた個人情報を第三者へ提供することはございません。
※掲載内容は変更または中止になる場合があります。詳しくは各店舗・施設へお問合せください。最新の情報は公式サイトなどでご確認の上、おでかけください
（すべて2025年4月22日現在のものです）。写真はすべてイメージです。掲載価格はすべて税込価格です。QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

メイジノオト ミニ Meiji-Note

意匠編

「メイジノオト・ミニ」は、皆さまのココロや暮らしをちょっとだけ豊かにする、「明治村」に関わる情報をお届けするコーナーです。

明治をみつめる。①をみつける。
メイジノオト Meiji-Note

第38回 華やかな祭壇の秘密

博物館 明治村 60th

大明寺聖パウロ教会堂はキリスト教の禁制が解かれたばかりの明治12年、長崎湾の伊王島に建てられた教会堂です。祭壇の両脇にある窓の意匠として使用されている麻は、古くから神事に用いられる植物として知られており、その文様は、魔よけや健やかな子供の成長を願う意味も込められた吉祥文様です。外観こそ禁制の影響を色濃く残した質素な見た目ですが、教会堂の重要な祭壇に関わる部分には、吉祥文様を用いて華やかな意匠としたことが窺えます。

名鉄沿線MAP

名鉄沿線の公園スポット

1. 岐阜公園
2. 学びの森
3. 天王川公園
4. 庄内緑地
5. 愛知県森林公園
6. 大高緑地
7. ふれあいの森
8. 堀内公園
9. 愛知こどもの国
10. 豊橋公園

5月の名鉄沿線イベントカレンダー

5/11㊐まで	1 半田運河の鯉のぼり	■場所／半田運河沿い ■河和線知多半田駅下車 徒歩約13分
5/19㊊まで	2 史跡八橋かきつばたまつり	■場所／八橋かきつばた園 ■三河線三河八橋駅下車 徒歩約10分
6/15㊐まで	3 全国都市緑化ぎふフェア	■場所／ぎふワールド・ローズガーデン（ほかに岐阜県内6会場でも開催） ■広見線新可児駅からさつきバス「ぎふワールド・ローズガーデン」下車、または明智駅下車 徒歩約25分 ※日祝はさつきバス運休、土日祝は明智駅から東鉄バスあり
5/11㊐～10/15㊌	4 ぎふ長良川の鵜飼	■場所／岐阜市長良川河畔 ■名古屋本線名鉄岐阜駅から岐阜バス「長良橋南・川原町」下車 徒歩約1分
5/18㊐	5 みんなハッピー！かさマルシェvol.7	■場所／笠松みなと公園 ■名古屋本線笠松駅または竹鼻線西笠松駅下車 徒歩約10分
5/24㊏・25㊐	6 豊川市民まつり おいでん祭（さい）	■場所／豊川公園一帯 ■豊川線諏訪町駅下車 徒歩約5分

※上記は4月22日現在のものです。最新の情報は公式サイトなどでご確認の上、おでかけください。